

議会報告

■議会質問(平成25年2月22日第1回定例会一般質問)

少子化対策として大事な不育症のついて

質問: 不育症の検査や治療費は高額である。不育症の支援は、「命を守り、命を育む対策」である。不妊症同様、不育症患者に対しても経済的支援をすべきと強く求める。

答弁: 治療が必要になる不育症の方に対する経済的支援については、国における今後の動向を注視してまいりたい。



八木山動物公園のバリアフリー化について

質問: 障がいをお持ちの方から「障がい者が安心して楽しめる動物園にしてほしい」とのお声をいただいた。急ごう配の改善、手すりの設置、電動車いすの貸し出しや園内の目玉にもなる乗り物、小型シルバーカーを取り入れてはいかがか。

答弁: 八木山動物公園の特性を生かしながら、園路の段差解消や手すりの増設などを行い、車椅子利用者や高齢者の皆様により利用しやすい施設となるよう努めてまいりたい。



その他の質問項目

- 被災者のきめ細かな支援について
- 太白区青山地域の足「青山くん」の現在まで検討状況と地元検討会の取り組み
- 八木山動物公園のエコの取り組み、地下鉄東西線開業を見据えた今後の動物園づくり。
- 地下鉄女性専用車両やレディースシート導入について。市民アンケートの早急な実施。
- みなし仮設住宅のお住まいの被災者見守り支援強化について。
- 仙台市に福島から避難されている被災者の訪問による支援強化。「復興定期便」に東京電力賠償関連の情報掲載。



■平成25年3月1日予算等審査特別委員会・健康福祉費

妊婦健診受診券の活用について

質問: 産後の身体と心の健康は、とても大事なことである。産後1か月健診を妊婦健診受診券で活用できれば、出産後の身体の回復を確認でき、産後うつの早期発見につながる。また、産後1か月健診の受診率も上がることから、取り組んでいる自治体もある。本市としても拡大すべき。

答弁: 産後1か月前後は、出産後の身体の回復状況等がその後の子育てに影響する重要な時期と認識している。健康診査経費の公費負担については、今後、国の動向などを見極めながら、慎重に検討してまいりたい。

- 水痘・おたふくかぜ予防接種について、接種対象期間を過ぎた場合の一部助成。
- 不育症に周知・普及啓発についての具体策。各区保健福祉センターの役割と対応。



■平成25年3月6日予算等審査特別委員会・経済費

秋保工芸の里活性化支援事業について

質問: この事業は、秋保工芸の里の活性化に向け、後継者の育成とPR強化などを

図っていくことを目的として、国の緊急雇用創出制度を活用し、昨年11月から実施している。これまで我が会派として、後継者育成についてもとめてきたところであり、大変評価するものである。しかし、課題は、工人見習いの育成期間が1年5か月と短いことである。現場の工人の指導者にとっては、技術習得には、短くて3年が必要であり、工人見習いの方々も、工芸家を目指してもっと学びたいとのお声である。工人の減少や高齢化で後継者育成が急務な課題となっている蔵王町や白石市では、複数の国の事業を活用し、4年の修了とし取り組んでいる。本市としても、平成27年度まで実施している国の事業(生涯現役事業)を活用して、雇用を継続すべき。

答弁: このたびの取り組みについては、後継者を育成するための下地づくりであるとの考え方からスタートしたものである。今後、事業の効果も検証しながら、必要であれば、国に対して制度の延長を求めるなど、ご提案いただいた他の制度なども研究しながら、事業の継続等も検討してまいりたい。

- PR活動の取り組みについて。各工房の工人の魅力を発信。ホームページの拡充。
- 秋保工芸の里敷地内の歩道・駐車場等の整備。

活動・視察

● 蔵王町で国の暫定基準値を超える放射性セシウムを検出し、出荷停止となっている原本シイタケの栽培現場を視察。汚染されたほど木を処分する場所がなく、農家は、生産再開が出来ない状況になっている。*ほど木…シイタケを栽培する時に、種菌をつける原木(シイ・クリ・クヌギ・ナラ)のこと。(3月10日)



● 札幌市の障がいのある方の就労支援とともに、障がいのある方に対する理解促進等を図ることを目的に開設された「元気カフェ」(市役所庁舎1階ロビー内)(1月29日)



● 今春4月から、障がいを持った児童生徒の急増に伴い、県立光明支援学校の分教室が市立長命が丘小学校内に開設されます。改修した職員室・保健室。(3月18日)



● 埼玉県北本市の高齢化に伴い、交通不便地域の新たな足として、デマンドバス導入の取り組みを視察。
*デマンドバスとは、利用者登録制で予約して乗車する乗り合いバス。(2月8日)

● 仙台市から委託を受け、仮設住宅等の見守り事業・就労支援などに取り組んでいるNPO「パーソナルサポートセンター」(青葉区・1月22日)を視察。